

令和元年度 未来をつくろう 市民と市長の地域懇談会 報告書



日時	令和元年 10 月 10 日（木） 午後 6 時 30 分～8 時 10 分		
場所	西地区コミセン		
参加者数	52人		
市側出席者	市長	北	猛俊
	副市長	石井	隆
	総務部長	稲葉	武則
	市民生活部長	山下	俊明
	保健福祉部長	若杉	勝博
	経済部長	後藤	正紀
	建設水道部長	小野	豊
	教育部長	亀渕	雅彦
	ぶどう果樹研究所長	川上	勝義
	企画振興課長	西野	成紀

【市長 開会のあいさつ】

令和元年度の地域懇談会は9月20日からはじまりました。本日は西地区コミセンを会場に桂木町、北斗町、新富町、西町、学田二区、清水山、島ノ下の地域のみなさんにお集まりいただきお礼を申し上げます。

今年の地域懇談会のテーマは「これからの富良野市のまちそだて」と「地域の課題」です。まちそだての関係では、令和3年から始まる新しい総合計画の策定に向けて今年から準備を進めていますが、その中に本日、みなさんからいただいた意見を盛り込んでいきたいと思っています。総合計画は、普段みなさんが生活をしていて、こんなことが出来たら良いな、こんなことで利便性が上がると良いな、こんなことでお金をかけることがなくなれば良いなという、一つ一つの意見を総合計画に盛り込みます。そうすることで、みなさんと行政にとって住みやすい魅力のあるまちづくりにつながっていくと思います。

新庁舎の基本設計についても説明します。昨年も地域懇談会でみなさんからご意見をいただきました。その後、市民説明会を開催して基本設計まで策定が進んでいるところです。これから実施設計ということで、みなさんのご意見をその中に盛り込んでいきたいと思っています。

JRの関係では、去年の地域懇談会で鉄道の存続に向けた説明をさせていただき、みなさんからも存続に向けた強い思いを聞かせてもらい、その思いをもとにして現在、JR北海道と関係する自治体が協議してアクションプランをつくりました。JRの乗車率を上げる、鉄道に対する住民の関心を持ってもらうような取り組みを実施する予定です。フォトコンテストを開催したときの応募写真でカレンダーを作成しましたので、各施設に掲示してあるものと見て取り組みを知ってもらいたいと思います。また、北海道はJR北海道に対して2億円の支援を決め、そのうち富良野市は150万円を負担することを9月議会で承認をいただきました。この支援は、JRの運行に関わる利便性の向上が主な目的で、これまで悪かった滝川の乗り継ぎ、なくなった往復切符など、利用する方々の利便性を上げていくということが主な目的です。

昨年いただいた意見が少しずつ、取り組みの中で反映されています。本日のテーマ「まちそだて」についても、忌憚のないご意見をお願いします。

【懇談会の意見と回答】

市民協働（担い手育成）

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
<p>○市民協働を育てたり、一緒にやっていくための窓口や担当課を確立して、地域と連携し地域の人材を活動の中に活かしていくための位置付けになるようにしてほしい。地域とのコミュニケーションを市が間に入って取ってあげれば、かなりの部分で地域と行政が協働してやれる。</p>	

産業（雇用）

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
<p>○人口減少によって労働力が減ってくる。企業としても労働条件を上げていく必要があるし、同一賃金同一労働の問題もあるが、企業としての存続が難しい状況になっている。そうしたことから、政策的な予算をつけて魅力あるまちづくりをしてほしい。</p>	<p>○富良野市には農業を中心に外国人労働者が入っています。平成29年からは子育てをするお母さんの取り組みや高齢者への取り組みも試行しています。今年からはU・Iターンの住宅支援ということで企業と市で住宅費の援助をしています。</p>

産業（商業）

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
<p>○北の峰で外国資本の不動産取得が多くなり開発が進んでいるが、市では北の峰をどういう地域にしたいのか。</p>	<p>○外国資本が入って来て、地域コミュニティを保てないという実情を聞いています。市としてもスピード感を持って対策をしていくために、北の峰の町内会と協議して方向性を決</p>

	<p>めていきたいと思っています。</p> <p>○町内会の加入が少なくなりコミュニティが取れないという切実な問題があります。日程を調整して近々会合を持って進めていきます。土地の売買を止めることはできませんが、買った人に地域の実情を説明して、住むときに町内会の決めごとを伝えるようにします。</p>
--	---

防災・防犯（防災体制）

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
<p>○洪水のときに高齢者や障がい者が早めに避難するときに、地域の近くにある民間施設に協力してもらえるところがあれば、一時的に避難できないか。</p>	<p>○6月に防災ガイドマップを改定して配布しました。100年に一度の災害想定を1000年に一度に変えたものです。想定外を想定しなければならぬということで大きく変わっています。桂木町は防災に活発で出前講座で意見交換も行っています。水害は垂直避難の考え方が多くなっています。新しく西中学校と緑峰高校も2階が使えるということで一時避難所に指定しています。地域では一時避難先として西病院と話し合いをしていると聞いていますので、できるだけ高い場所に避難してもらいたいと思います。</p>

環境（廃棄物処理）

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
<p>○町内会は任意の組織。ごみの分別回収は行政の仕事。町内会に入っていない人はゴミを捨てる場所がないので、夜中にどこかへ行って捨ててくる。山部のリサイクルセンターまで</p>	<p>○町内会に入っていない人専用の資源回収ステーションがあれば良いという意見ですが、市ではこれまで、町内会に加入して地域コミュニティを作ってもらうことを、政策として</p>

<p>行くのは遠い。外国の人や長期滞在する観光客は町内会に加入しない。町内会では綺麗に管理したいと思っている。市街地に町内会に加入していない人がゴミを捨てられる場所をつくって、トラブルを少なくしてほしい。</p>	<p>進めてきましたが、高齢化などで町内会の在り方も課題となっていますので、今後の参考にしたいと思います。</p> <p>○北の峰町でも同じような問題が出ています。道路沿いの資源回収ステーションに捨てていくという実態もありますので、持ち帰って良い方法を検討したいと思います。</p>
--	---

福祉・社会保障（子育て）

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
<p>○富良野圏域で子育て政策が負けている。</p>	<p>○子育てに関係する部署の担当者を集め、日常業務の中で聞く子育てに関する要望、昨年の地域懇談会等での声を集約し、総合的に必要と判断した施策として、今年の4月から中学生までの入院費を無料、予防接種の費用助成を新しく取り組んでいます。さらに意見を聞きながら、次の総合計画に取り入れていきたいと思っています。</p>

福祉・社会保障（高齢者福祉）

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
<p>○過去に100歳以上の人に記念品を渡していたが、市として100歳になったときくらいはメッセージがあっても良いのではないか。</p>	

基盤整備（交通）

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
-------	-------------

<p>○除雪で道路の雪を家の車庫の前に置いていく。何年も対応してもらえなかったが、昨年、市の担当者と業者に来てもらい対応してもらった。</p>	<p>○間口の除雪は他の地域でも同じような対応をしています。</p>
---	------------------------------------

基盤整備（新庁舎）

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
<p>○新庁舎建設の返済計画に利息は含んでいるのか</p>	<p>○利息も含んだ返済計画です。</p>
<p>○できるだけ経費を節減していくと説明しているが、建設費が増えた。増えた部分に補助金を充てるなら、建設費をもっと削減して市民負担を減らしてほしい。</p>	<p>○基本設計と基本計画で説明したときに、みなさんから要望をいただきました。例えば、リハーサル室、子供の遊び場、パントリーについて協議した結果、市民のみなさんが使いやすくなり、さらに追加負担が生じないことから判断して面積を広げた結果、建設費が増額しました。</p>
<p>○新庁舎の建設費が64億円になった。市民生活に影響はでないというが本当に大丈夫なのか。大丈夫だということを数字で示してほしい。平成19年のとき、団体への補助金を削減したり、市職員の給料を削ったことがあるが、そうなる心配はないのか。</p>	<p>○市では地方債といって国に借金をして事業を実施し、毎年公債費として返済しています。過去に借金した返済が終了してきますので、公債費は平準化します。事業に影響はできません。将来的にどうなるのかは、広報やホームページを見てほしいと思います。</p> <p>○平成19年が公債費のピークでしたが、そうならないように試算しています。</p>
<p>○4階の議員フロアは全体面積で4分の1あるので約15億円かかる。今後、議員の人数も減ってくる。4階は必要あるのか。</p>	<p>○議場の椅子と机は動くようになります。議会関連の諸室もありますが、議会だけでなくいろいろな会議で有効に使っていきたいと思います。1階の会議室は文化会館の利用が想定され市民のみなさんが中心に使用することを</p>

	見込んでいます。庁内の会議は4階の諸室を使用することになります。
--	----------------------------------

行財政運営（人口）

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
<p>○全国的に人口が減少するが、他の自治体と比べるとそれほど減っていないのか。世界人口の状況はどうなるのか。</p>	<p>○日本全国の人口推計ですが、現在、全国人口は1億2千万人で、国は2050年には9千7百万人まで減少すると推計しています。さらに2100年には4千9百万人となり、今後100年で現在の人口から40%が減少すると推計しています。これは、明治時代の水準まで急変するのではないかという危機感を持ち、国としても人口を維持していくために、地方創生を中心とした少子化対策を進めているところです。世界的な人口動態は把握していません。</p> <p>○人口を少しでも増やす方向ということで事業を行なっています。人口を減らさない政策を考えていきたいと思えます。</p>
<p>○人口の社会減の原因はどのようなものか。事業所の閉鎖も関係しているのか。分析したものがあれば教えてほしい。どういう職種の転出入が多いのか。</p>	<p>○直近の3年間では、自然減よりも社会減の方が減少が大きくなっています。転出と転入の差が大きく、転入を増やして転出を減らすことが富良野市の課題です。過去に分析したところ、1番転出が多いのは20歳～24歳代で年間170人が転出し、次に25歳～29歳代で年間140人、次に30歳～34歳代で年間130人ということで、20歳代から30歳代前半の転出が440人と多くなっています。同じく、転入も20歳～34歳代は年間約400人入ってきています。平成30年に転入者と転出者を対象に行ったアンケートでは、転出入の理由で</p>

	<p>最も多いのは仕事によるもので約7割でした。最も多いのは公務員で約40%、次に会社員です。この結果は広報でお知らせします。</p>
<p>○管内でも人口が増えている町がある。今後、自治体間での競争になるため選ばれるまちづくりをしてほしい。政策的にがんばっている町は目に見える成果がある。富良野市は知名度があるので他市町村より有利。やればできる成果は出ると思う。</p>	<p>○新しい総合計画では、どういう施策が良いのかを総体的に判断し、載せていきたいと思えます。</p>
<p>○恋活は大変良いことだと思う。独身者は若者だけではないので、中高年を対象にした場もつくってほしい。</p>	<p>○出会い総合サポート室で取り組んでいます。若い人だけではないという意見もあり、11月に40歳以上の独身男女を対象にした企画を開催します。また、サポート室では独身者を仲介してくれるサポーターも募集していますので協力をお願いします。</p>

【市長 閉会のあいさつ】

子どもからお年寄りまで、住んで良かったと満足していただけるようなまちをつくっていくことが、まちの魅力につながります。まちの魅力づくりは、住んでいるみなさんとつくり上げていきたいと思えます。

課題を一つ一つ解決することが住みやすいまちをつくっていくことです。この後も引き続きご意見、ご提言をいただきたいと思えます。

行財政運営（人口）

人口問題の考え方は、30年後の人口が1万4千人になるからといって減る人口に合わせて仕事をつくるということではなく、まちとして必要な人口規模はどの程度か。その人口規模を維持していくためには、どのような施策が必要なのかということで、次の総合計画を組み立てていきたいと思えます。

行財政運営（ICTの活用）

除雪車にICT（情報通信技術）を付けることで、除雪の進捗状況がどうなっているのかが分かり、意見をいただくことで対応できるようになります。技術を持った人も少なくなりますので、効率を上げていくことに、テクノロジーが必要になってきます。そうした考え方も次の総合計画に盛り込みたいと思えます。

市民協働（担い手育成）

地域のコミュニティーが不足し、町内会や連合町内会の役員、民生委員のみなさんの仕事も大変になっています。そうした地域コミュニティーに携わっている方々の負担を軽減することと同時に、地域の活力は地域のコミュニティーがつくっていくものです。行政がどこまで支援ができるのかを一緒になって検討していきたいと思えます。

【参加者アンケートの主なご意見】

年齢区分	性別	ご意見
29歳以下	女性	一人でも多くの方が納得のいく政策にしてほしい。
40-49歳	男性	新たな総合事業をつくるにあたって問題点だけを提示するのではなく、市の方向性や目標も示してほしい。
40-49歳	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・市側担当者が足組みしているのは印象が悪い。 ・外国人とまちづくりをしていくには、日本語（日本文化）学校（教室）があると良い。 ・市長の話をもっと聞きたかった。 ・新庁舎の子どもの遊び場は、市民ニーズの遊び場とは違うのではないか。 ・新庁舎の窓口は1階にあると良い。 ・コミュニケーションボイドの火災対策は検討しているのか。
50-59歳	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・新庁舎建設は、これで進めるという感じがした。 ・子どもが少なくなるのは困るが、現状、増える高齢者の対応を進めてほしい ・除雪だけでなく融雪施設も必要ではないか。 ・30年後の富良野市を今考える必要がある。
60-69歳	男性	・メモ用紙を付けると良い
70歳以上	男性	昨年の冬は、玄関と車庫前の道路の雪をよけてくれたので、今年もお願いしたい。
70歳以上	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・若い参加者が多く、頼もしく感じた。 ・若い人の人口流出を止めるためにも働く場を増やしてほしい。
70歳以上	男性	高齢者福祉にも力を入れてほしい。